

蒲郡駅事件、リニア、安全問題を訴える！ 記者懇談会開催！

9月7日、本部と名古屋地本は、名古屋市内で記者懇談会を開催しました。新聞社・テレビ局12社14名が出席されました。

私たちが訴えた内容（要旨）は以下の通りです。

①蒲郡駅事件

ありもしない事件を、会社が組合員を告訴したことから事件がつくられた。一審判決は不当である。本日控訴審が開かれ結審した。10月5日判決となった。ご理解をお願いします。

②リニア

私たちはこの間、学習や討論を行い、第24回定期大会で、組合員総意としてリニア反対の方針を掲げた。組合の申し入れに対し、会社は具体的な回答をしていない。市民ネット（環境団体）の申し入れに対しても同様。

会社は、新幹線の輸送力増強、老朽化対策、スピードアップをリニア推進の理由としている。私たちは、これらの理由について、検証してきた。さらに、経営や財務体質の問題、安全問題は未解明のままである。新幹線・リニアの二重の赤字を危惧する。

③安全問題

名松線家城駅で同じ事故が2度も発生した。私たちが申し入れたハード対策を実施していれば防げたのではないか。また、飯田線119系の速度計誤表示の問題など、会社の安全姿勢は傲慢である。



JR東海の傲慢な経営姿勢を明かす！